

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 有限会社 アンビック/バリエアール外語学院

1 事業の趣旨・目的

同胞にコミュニケーションとしての日本語を教えることのできる日本語教師を養成する

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月12日	バリエアール外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	講師選出 日程 学生募集方法 場所の選定 モデルチューデントの手配方法	教材・教科書決定 カリキュラムの決定 役割分担
9月11日	バリエアール外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	実習についての問題点など	模擬授業を行なったの感想、意見交換
10月31日	バリエアール外語内	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	実施の成果検討	アンケート結果検討と今後について

【写真】



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 外国人日本語交流員養成講座
- (2) 養成講座の目標 本講座終了後、ボランティア講師として活躍できる
- (3) 受講者の総数 3 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
出身・国籍別内訳 韓国 1人, ペルー 1人, フィリピン1人
- (4) 開催時間数(回数) 40 時間 (20 回)
- (5) 参加対象者の要件 外国人で日本語能力試験 2 級以上程度の日本語力のある方
- (6) 受講者の募集方法
韓国食材、ブラジル食材、フィリピン食材の店、ベルエアー外語学院内へのチラシ掲示
配布、ホームページ、にての募集

日本語交流員(指導者)養成講座 の おしらせ

日本人と多文化共生していくため、同胞にコミュニケーションとしての日本語を教えることのできる 日本語講師 を養成するための講座を開講いたします。

講座の後半では 実際に外国人に教える実習もあります。

なお、この講座は 2010年度 文化庁 日本語指導者養成 として委託されております。多数のご参加をお待ちしております。

名称) 日本語指導者養成

目的) 日本語能力を有する外国人を対象にした日本語指導者養成事業

期間) 7月24日(土曜日)から10月24日(日曜日)の毎土曜、日曜日

時間帯)①午前 10:00-12:00、ご都合をお知らせください。

募集定員) クラス 10 名 ※希望者が多い場合はクラスを増やします。

場所) ベルエアー外語学院 又は 三島市一番町、ご都合をお知らせください。

募集期間)7月3日(土)まで

費用) 無料、交通費等は自己負担お願いします。

申し込み・お問い合わせは ベルエアー外語学院 川口 迄

沼津市大手町 3-5-5

TEL 055-951-6996

FAX 055-951-6127

E-mail belair@yr.tnc.ne.jp

(7) 研修会場 三島市一番貸会議室

(8) 使用した教材・リソース

みんなの日本語 1(教科書)

みんなの日本語シリーズ

「文化初級にほんご たのしく話そう」

「みんなの日本語 教え方の手引き」

にほんごの教え方 スーパーキット1

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
7月24日 10:00-12:00	異文化コミュニケーション	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
7月25日 10:00-12:00	日本語音声の特徴と指導法	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
7月31日 10:00-12:00	日本語の文法①	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
8月1日 10:00-12:00	日本語の文法②	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
8月7日 10:00-12:00	教材・教具の作り方選び方	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
8月8日 10:00-12:00	文字・表記	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
8月28日 10:00-12:00	学習活動の実際①初期の授業の流れ	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月29日 10:00-12:00	学習活動の実際②流暢さの教育	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	2名
9月4日 10:00-12:00	文型指導①「わたしはマイク・ミラーです」など	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月5日 10:00-12:00	文型指導②「一緒に東京へ行きませんか」	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月11日 10:00-12:00	文型指導③ 「きのうは寒かったです」	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月12日 10:00-12:00	文型指導④「写真をとってもいいですか」	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月19日 10:00-12:00	文型指導⑤「相撲を見たことがあります」	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	2名
9月20日 10:00-12:00	文型指導⑥「あした雨が降ると思います」	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
9月26日 10:00-12:00	模擬授業指導⑦文型指導	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
10月2日 10:00-12:00	模擬授業 フィードバック	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
10月9日 10:00-12:00	模擬授業 フィードバック	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
10月16日 10:00-12:00	模擬授業 フィードバック	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
10月23日 10:00-12:00	模擬授業 フィードバック	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名
10月24日 10:00-12:00	日本語表現 講座まとめ 修了式	講師/沼津国際交流員 山本幸恵	3名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

日本語講師養成講座アンケート

本講座を受講した理由は何ですか 複数回答可

A.日本語を教えたい 3人 b.身近に教える人がある 2人 c.その他

1 総評

① コース全般についての感想をお聞かせください。

A.大変満足 3人 B. まあまあ 人 C. 大変不満

② コースで改善すべきだと思う点があればお聞かせください。

A. 特になし 3名 B. レッスン内容 具体的な教え方が知りたい

③ 現在のクラスの曜日時間帯はどうでしょうか。

A. 現状でよい 3名 B. 曜日を変えたい C. 時間帯を変えたい 名

希望の曜日、時間帯を教えてください。(土、日)曜日(13:00 時)からの時間帯

2.研修形態

① 1回あたりのレッスン時間はどうですか。 A. ちょうど良い 3人 B. 長い C. 短い

② 1週間あたりのレッスン頻度はどうですか A. ちょうど良い 3人 B. 多い C. 少ない

③ 1クラスあたりの受講者の数はどうですか。A. ちょうど良い 3人 B. 多い C. 少ない

④ 現在のクラスは終了しますが、引き続き次のコースを受講希望する、しないを○で囲んでください。 引き続き受講の希望 有り 3人 無し

3.カリキュラム

1. 難易度はどうですか。A. ちょうど良い 2人 B. 少し難しい 1人 C. 少し易しい

2.レッスン内容はあなたのニーズにあっていますか。

A. 合っている 2人 B. 大体合っている 1人 C. 合っていない

4.今後について

1.教えてみたい? A.はい 1人 B. 自信がない1人 C.将来的に興味はある 1人 D.教えたくない

2.何が足りないと思いますか。 A.実践 1人 B.文法説明 1人 C.その他 1人

5.その他、ご意見ご要望があればお書きください。

* もっと実践の場がほしい * 次のクラスがあれば受けたい * もう一度最初から受けたい

* 各課ごとの教え方を知りたい * とにかく自信がない

* まだまだ教えるには自分では足りない * 教材作り教案作りなど参考になった

ご協力ありがとうございました。

ベルエアー外語学院

② 実施主体からの研修内容結果評価

受講者により、ボランティアとして十分に教えられるだけの力をつけた人、もう少し整理が必要な人、少しずつ実践で自信をつければよい人など様々であるが、最初の教える基礎部分の習得の点ではある程度評価できる結果であったと思う。特に外国人は同胞であるという気軽さからか教える技術はまだ不十分であるが笑いをとりながらの模擬授業もできていた。ボランティアが日本語を教えるとき、日本語についての知識や教える技術よりも、日本語能力もまちまちで多様な学習者の要望を的確にくみ取り、お互いに楽しい時間を過ごせるコミュニケーション力ではないかと考えます。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

日本の学校に通っている外国人の子供たちは日本語はできるが母語ができず、親は日本語能力が子供に追いつかないので家庭内での親子関係に支障がおきているのが現状で、帰国した際なども合わせると子供たちへの母語の教育は必要なものとして親の希望があります。

また、現在異文化交流として沼津市内の中学校に英語講師を派遣しているが、日本語も小・中学校の外国人児童・生徒たちに日本語指導をしたい。

是非体制を作り、質のよい講師を育成し送り出したい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

受講者にボランティア講師希望の有無を確認し、沼津市の国際交流協会やNPO(日本語教室)に働きかけ、この研修を知ってもらい受講者の研修後の受け入れ先になってもらい1名はボランティア団体の日本語講師として教えるよう予定。また、1名は個人的に知り合いに教えるようです。

② 研修後の人材活用

国・県などの国際交流協会・NPO・サークルなど または自分で日本語教室を開催するなど、多方面で活躍していただき、ネットワークをつくる。

(12) 今後の課題

現在沼津市が行っている日本語教室「日本語を語る会」では国際交流協会が独自の方針・方法で講師の養成や授業を展開しており、地元の大きな受講生の受け入れ先のひとつであるため、是非その独自のやり方も取り入れ、対応できる講師を育成したい。また、NPOやサークルなど受講生が自ら立ち上げる場合のサポートをしていく必要がある。

講座終了後に本講座のことを知り、申し込みにくられた方が、2名居り、次回のときに参加いただけることになりましたが、開講の回数を増やしていくことで期待される日本語教師養成人数を増やし、その後により専門家として活躍できる教師の養成もしていきたいと考えます。